



学校だより

雪小っ子

NO. 16

西海市立雪浦小学校

校長 浅田 眞理

平成29年 6月 2日 発行

動から静へ

雪浦ウィーク、家庭訪問、避難訓練、修学旅行、ロビーコンサート、スポーツテスト・・・と、とにかく走り続けた5月。天候にも恵まれ、好天続きの5月でした。そんな『動』の5月が終了し、昨日から梅雨を控えた6月に入りました。この6月を例えるならば、『静』の6月と言えるのではないのでしょうか。

子供たちは4月からの2ヶ月間、順調に学校生活を過ごしており、新学年としての生活にもすっかり慣れていきます。これからも様々な教育活動に取り組んでいくことですが、充実した学習活動が展開されるようしっかりと指導・支援していきたいと思えます。

私ども教職員の今年度の研究テーマは、来る平成32年度次期学習指導要領の完全実施を見据え、また昨年度の反省を踏まえ、『学ぶ喜び、生きる喜びにあふれた子どもの育成～学力、道徳性向上への取組を通して～』です。いろいろな具体的方策を策定し、短期スパンで振り返りをしながら、望ましい方向へと子供たちを導いていきます。教職員皆が一つになり動いている雪浦小学校ですので、今後とも保護者の皆様の御理解・御支援をよろしくお願ひします。



第1回 学校運営委員会（つがねの会） 開催される！

保護者や地域住民の要望・意見を学校経営に反映させ、特色ある学校づくりを行うために設置された上記委員会。他校では、学校支援会議と言われているものですが、その会が30日（火）19時からパソコン室で行われました。

メンバーは今年度3名の新メンバーを加え、15名（学校3名・PTA1名含む）で構成されています。たとえば、昨年度地域通学合宿をこれまでと大幅に様変わりさせましたが、この会の協力があってこそその結果でした。

今後は、この会を母体としながらもコミュニティスクール実現に向けて歩み続けていく予定です。

今回も今年度の学校経営についての確認や今年度の活動についての協議がなされました。地域の方々も『雪浦小学校のために』と、とても張り切っています。



5月「給食で一句」の結果

子供たちの言語表現能力の育成や食育の一環として行っている『給食で一句』の取組。5月もたくさんのノミネート作品がありましたが、その中から先生方の投句により下記の作品が選ばれました。

- 【 最優秀賞 】 熊本の 旅思い出す ヨーグルト 6年 渡辺 脩太
 〈 献立：ヨーグルト 〉
 ヨーグルトの生産元を見てみると熊本で作られたものだったこと、修学旅行2日目の朝食にヨーグルトが出たことなどが、この句の背景にあるようです。
- 【 優秀賞 】 空見上げ ジャックを思い 豆食べる 6年 坪川 悠翔
 〈 献立：そら豆塩ゆで 〉
 そら豆を食べている時、ジャックと豆の木のお話が浮かんできたのでしょうか。
- 【 佳作 】 キラキラと 光るにぼしは 大スター 3年 中沼 美波
 〈 献立：煮干しの佃煮 〉
 子供たちに大人気の手作りの佃煮。まさに大スターですね。
- ビーフンに 姿をかえた お米さん 6年 平松 妃那
 〈 献立：炒めビーフン 〉
 ビーフンが何からできているのか知らない人も多いのですが、さすが6年生。
- 鮭グラタン 焼きめこんがり 中ふわり 6年 伊藤 優哉
 〈 献立：鮭グラタン 〉
 おいしそうな鮭グラタンということが伝わってくる表現ですね。

